

関東信越厚生局長 殿

新潟大学医歯学総合病院
開設者名(管理者名) 病院長 内山 〇〇

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	79.91人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	466人	49人	483.1人	看護補助者	4人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	190人	0人	190.0人	理学療法士	10人	臨床検査技師	69人
薬剤師	43人	0人	43.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	6人	その他	3人
助産師	36人	1人	36.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	754人	21人	769.1人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	2人	5人	5.3人	栄養士	0人	その他の技術員	23人
歯科衛生士	14人	5人	17.4人	歯科技工士	6人	事務職員	158人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	41人	その他の職員	17人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	706.5人	29.2人	735.7人
1日当たり平均外来患者数	1,506.9人	565.4人	2,072.3人
1日当たり平均調剤数		1,237剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	93人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	67人	・広範脊柱管狭窄症	15人
・重症筋無力症	126人	・原発性胆汁性肝硬変	59人
・全身性エリテマトーデス	348人	・重症急性膵炎	7人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	95人
・再生不良性貧血	26人	・混合性結合組織病	42人
・サルコイドーシス	202人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・特発性間質性肺炎	12人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	249人	・網膜色素変性症	28人
・特発性血小板減少性紫斑病	46人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	37人	・肺動脈性肺高血圧症	14人
・潰瘍性大腸炎	248人	・神経線維腫症	39人
・大動脈炎症候群	46人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	15人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	40人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	68人	・ライソゾーム病	9人
・クローン病	77人	・副腎白質ジストロフィー	4人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	7人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	9人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	90人	・球脊髄性筋委縮症	4人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	73人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	77人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	16人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	71人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	33人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、 先端巨大症、下垂体機能低下症)	72人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・胎児心エコー法	・
・腹腔鏡下肝切除術	・
・センチネルリンパ節生検	・
・悪性黒色腫センチネルリンパ節生検	・
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る)	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	247件/年
部 検 の 状 況	部検症例数 26例 / 部検率 6.50%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特発性肺胞蛋白症における免疫変容の体系的研究	中田光	生命科学医療センター	2,730,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)
電子カルテからのダイレクトリスクマイニングの試み	鳥谷部真一	医療安全管理部	2,600,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)
新たな神経可塑性の検討と可塑性を考慮した末梢神経修復成績向上への研究	柴田実	形成外科	5,330,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)
レギュラトリ細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響一敵か味方か一	中島貴子	歯科総合診療部	5,850,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)
食道がん発症リスク因子を確証的に同定するための中国疫学調査の実施	赤澤宏平	医療情報部	2,730,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)
アスリートを対象とした運動誘発性喘息の診断とその治療効果	鈴木榮一	医科総合診療部	780,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
粘膜免疫から多発性硬化症の病態制御因子を探究する	河内泉	神経内科	1,170,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
新規抗精神病薬の治療反応性及び副作用予測に関する薬理ゲノム学的研究	鈴木雄太郎	精神科	650,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
歯槽骨組織を用いた早期骨粗鬆症診断法の確立一骨粗鬆症分野への歯科的貢献一	田中みか子	義歯(入れ歯)診療室	650,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
口腔癌のMultigene精密診断への重回帰モデルの応用	永田昌毅	顎顔面外科診療室	650,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
培養骨膜によるインプラント適応拡大に向けた臨床骨再生	星名秀行	インプラント治療部	1,040,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
歯の他家移植治療法の基盤となる歯根膜細胞の分化誘導法の確立	大島邦子	小児歯科診療室	1,690,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
歯科検診を応用した施設入所被虐待児のセルフ・エスティーム啓発プログラム	佐野富子	小児歯科診療室	1,040,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
2型糖尿病患者の抗動脈硬化に対する抗菌的歯周治療の有用性に関する無作為比較試験	小川祐司	予防歯科診療室	910,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
クローン病狭窄症に対するRNA干渉技術を用いた内視鏡的治療法開発	鈴木健司	第三内科	780,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
アジアロリスロボエチンを用いた心血管系再生医療の前臨床基盤研究	鳥羽健	第一内科	1,690,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
重症下肢虚血患者に対する体外増幅赤芽球移植による血管新生治療の有効性の検討	小澤拓也	高次救命災害治療センター	1,820,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
Brugada症候群の右室流出路伝導異常の検証(リスク階層化への応用)	古嶋博司	第一内科	390,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
末梢血循環腫瘍細胞を用いた肺癌術後再発予測・オーダーメイド治療の開発	吉澤弘久	生命科学医療センター	1,560,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
消化管神経変性の病態解明:環境に近接する神経系へのアプローチ	小澤鉄太郎	神経内科	1,170,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
プロスタグランジンレセプターを介したアスピリン誘発性喘息の研究	小屋俊之	第二内科	1,040,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
胆管癌における53BP1を介したDNA損傷修復機構の解明及びその臨床的意義	若井俊文	小児外科	1,430,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
2型肺上皮再生と肺胞マクロファージ抑制を介した新しい急性肺障害治療法の開発	土田正則	第二外科	650,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)

小計23件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
正常免疫機能を保持した歯髓組織を再生するための分子生物学的研究	金子友厚	歯の診療室	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
VF検査に代わる非侵襲的な嚙下検査の構築	木村慎二	総合リハビリテーションセンター	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
薬剤性歯肉線維化局所におけるコラゲナーゼインヒビター的作用	久保田健彦	歯周病診療室	1,300,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
肝細胞核内因子(HNF4 α)の分子病理学的解析	梅津哉	病理部	1,950,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
DNA障害の修復機構をマーカーとした新しいインターフェロン治療の開発	大越章吾	第三内科	3,510,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
肺胞蛋白症におけるGM-CSF吸入治療の効果予測因子の解析	田澤立之	生命科学医療センター	1,690,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
マクロファージをターゲットとした慢性腎疾患(CKD)治療戦略	池住洋平	小児科	1,560,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
MRI大脳白質病変より神経症状を予測する数理統計学的方法論の確立	寺島健史	医療情報部	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
肝胆膵鏡視下手術におけるAuto-Fluorescence Imagingの応用	皆川昌広	集中治療部	3,510,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
ピンポイント照射法を用いた極低侵襲レーザー治療装置の基礎	坂村律生	形成外科	3,380,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
歯髓創傷治療過程でFibrillin-1はどのように細胞分化と石灰化に関与するか	吉羽永子	歯の診療室	2,730,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
PCR発症メカニズムの解明と予防法の開発ーラット下顎骨延長モデルを用いた研究ー	小林正治	口腔再建外科診療室	1,950,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
凍結保存歯の歯根膜を再生させて、「歯の移植」の適応症を拡大する	泉直也	口腔再建外科診療室	2,210,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
低侵襲な顎骨再生をめざしてー脂肪組織由来幹細胞を効率よく骨芽細胞に分化させるー	小野由起子	口腔再建外科診療室	1,300,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
口蓋裂患者における上顎前方移動術後の鼻咽腔閉鎖機能予後予測評価方法の確立	朝日藤寿一	矯正歯科診療室	2,600,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
画像認知とオントロジーを融合した顎変形症診断支援システムの開発とその臨床応用	越知佳奈子	矯正歯科診療室	2,600,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
ゲノムメチル化プロファイルによる歯周炎とリュウマチの共通発症機序の解明	小林哲夫	歯科総合診療部	1,560,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
p53ノックアウトマウスを用いた新規口唇口蓋裂感受性遺伝子の検索	児玉泰光	顎顔面外科診療室	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
歯肉増殖症の歯肉におけるMMPs/TIMPsのバランス	中曽根直弘	歯周病診療室	650,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
慢性移植腎症の病態解明と早期診断を目的としたバイオマーカーの開発	鈴木俊明	小児科	1,430,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
統合失調症多発罹患大家系におけるコピー数多型の検索	金子尚史	精神科	650,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
悪性神経膠腫における天然化合物を用いたオートファジーの誘導と薬剤耐性の克服	青木洋	脳神経外科	1,170,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
ヒト脳腫瘍サンプルにおけるオートファジーモニタリングと組織学的検討	桑田学	脳神経外科	650,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
オピオイドの脊髄虚血に対する神経保護効果の電気生理学的解析	本田博之	高次救命災害治療センター	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
神経ステロイドと脊髄鎮痛	生駒美穂	手術部	910,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
局所麻酔薬の脊髄における興奮性伝達に対する作用	古谷健太	麻酔科	1,560,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)

小計26件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
モルヒネ耐性形成後の $\alpha 2$ 受容体作動薬による鎮痛作用機序の解明	石井秀明	麻酔科	1,040,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
転写因子ATBF1の前立腺癌細胞内局在の分子機構の解明と前立腺癌予後診断への応用	原昇	泌尿器科	1,820,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
若年婦人子宮頸癌発症要因としての喫煙に関する調査研究	西野幸治	産科婦人科	1,950,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
音響暴露における内耳免疫応答の検討	宮尾益道	耳鼻咽喉科	650,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
頭頸部痛患者に対する学際的な診断システムの確立	昆はるか	義歯(入れ歯)診療室	836,360	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
口腔粘膜悪性境界病変の診断へのNBIの応用と上皮内血管配置の病理組織学的裏付け	船山昭典	口腔再建外科診療室	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
歯限局型低ホスファターゼ症における分子・酵素レベルでの病態解析	沼奈津子	小児歯科診療室	780,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
歯周炎病態、リスク診断のこれから:インターロイキン6受容体の可能性を探る	小松康高	歯周病診療室	1,690,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
歯周組織再生を制御するマイクロRNA発現の網羅的解析	梶田桂子	歯周病診療室	1,950,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
歯周炎重症化に対するフィブリノゲンとIL-6の関連 -in vivo解析-	両角俊哉	歯周病診療室	2,730,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
長期コホートによる口腔内揮発性硫黄化合物の歯周疾患進行に対する影響の検討	山賀孝之	予防歯科診療室	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
2型糖尿病患者のアディポネクチン遺伝子多型と歯周病の病態の関連性について	松本沙耶香	予防歯科診療室	1,560,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
随意性嚥下における口腔感覚の役割	矢作理花	加齢歯科診療室	910,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
メタボリックシンドロームと関連疾患が日常生活動作の低下に及ぼす影響の包括的検討	小幡裕明	第一内科	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
人肝幹前駆細胞の理解に基づく肝再生医療、肝癌治療を目指した基盤作成とその発展	土屋淳紀	第三内科	2,860,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
難治性C型肝炎の完全治癒を目指した新規ウイルス制御機構の解明	矢野雅彦	第三内科	2,340,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
特発性心室細動の遺伝的成因と臨床像の関係および遺伝子型に基づく個別化治療の構築	渡部裕	第一内科	1,170,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
血栓溶解療法と新規神経保護薬リチウム	高橋哲哉	神経内科	1,430,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
精神症状を伴う軽度認知障害の認知症への転換を予測するニューラルネットモデルの構築	横山裕一	精神科	2,210,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
24時間ホルター心電図を用いた抗精神病薬による心臓突然死リスクの包括的評価	渡邊純蔵	精神科	2,080,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
新規抗精神病薬誘発性メタボリックシンドロームの実態解明-多施設薬理ゲノム研究-	須貝拓朗	精神科	1,690,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
悪性グリオーマ治療により誘導されるオートファジーのリアルタイムモニタリング	矢島直樹	脳神経外科	1,690,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
先進的3次元工学技術を基盤とした実体験型脳神経手術シミュレーションシステムの開発	大石誠	高次救命災害治療センター	2,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
唾液腺多形性腺腫における低酸素応答性増殖機構: SM-AP細胞系による解析	丸山智	病理検査室	2,340,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
菌体外マトリックスをターゲットとした成熟バイオフィルムの制御戦略の確立と臨床応用	若松里佳	歯の診療室	2,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
「捕食」は上半身全体で行う運動である	甲斐朝子	義歯(入れ歯)診療室	1,430,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト歯根膜由来・神経堤幹細胞によるセメント質／歯根膜複合体再生法の開発	加来賢	義歯(冠・ブリッジ)診療室	2,080,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
咀嚼筋および頸部筋の疲労が全身のバランスに及ぼす影響について	金城篤史	義歯(入れ歯)診療室	2,340,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
培養骨膜細胞・スキヤフォールド・サイトカインを併用する予知性の高い骨増成法	吉田恵子	義歯(冠・ブリッジ)診療室	2,080,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
より活性の高い凍結培養粘膜炎の開発 -口腔粘膜上皮前駆・幹細胞の確立と解明-	小山貴寛	顎顔面外科診療室	2,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
発達期における嚥下誘発機構の解明 -水刺激や味覚刺激は発達期の嚥下誘発に有効か-	梶井友佳	摂食・嚥下機能回復部	2,210,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
萌出遅延歯の臨床像と被覆歯肉の遺伝子発現の調査による分子的メカニズムの解明	飯澤二葉子	小児歯科診療室	650,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
新規歯周組織形成細胞マーカーによる歯周組織再生過程	河野承子	小児歯科診療室	2,860,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
女性ホルモン減少は、口腔乾燥症の一因となりうるか?	伊藤加代子	加齢歯科診療室	1,950,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
高齢者の口腔機能改善が及ぼす運動器機能訓練への増強効果の検証	高野尚子	予防歯科診療室	1,040,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
自発性異常味覚の評価法としての主観的および客観的指標の臨床応用に関する研究	船山さおり	加齢歯科診療室	1,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
高倍率手術用立体視モニター付き双眼ルーペの開発	柴田実	形成外科	1,700,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
重大外傷をアウトカムとした転倒転落リスクアセスメントツールの開発	鳥谷部真一	医療安全管理部	1,300,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
HTRA1によるTGF-βファミリーシグナルの伝達抑制機構の解明	野崎洋明	神経内科	1,235,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金研究活動スタート支援
ハイドロダイナミック遺伝子導入法による遺伝子治療 -イヌ血友病モデルでの検証-	上村顕也	第三内科	1,638,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金研究活動スタート支援
トリプトファン水酸化酵素2遺伝子が統合失調症の発症脆弱性に果たす役割	布川綾子	精神科	1,599,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金研究活動スタート支援
プライマリー・シリアを介した機械的刺激による歯根膜組織の維持機構	加来咲子	義歯(冠・ブリッジ)診療室	1,521,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金研究活動スタート支援
抗アポトーシスタンパクHSP27の細胞内導入法を用いた効果的な骨造成法の開発	川崎真依子	義歯(冠・ブリッジ)診療室	1,560,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金研究活動スタート支援
顎変形症患者の顔貌に対する認識を分析する-アイトラッキング法と質的評価の応用-	加藤祐介	顎顔面外科診療室	1,118,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金研究活動スタート支援
歯肉増殖症歯肉におけるTNF-α変換酵素とそのインヒビターの役割	板垣真奈美	歯周病診療室	1,378,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金研究活動スタート支援
ゲノムワイド疾患関連遺伝子同定のための遺伝統計学手法の開発	赤澤宏平	医療情報部	900,000	補 日本学術振興会科学研究費補助金特別研究員奨励費
抗うつ薬の臨床効果・副作用に関する薬理ゲノム研究	鈴木 雄太郎	精神科	230,000	補 独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	田邊 嘉也	感染管理部	230,000	補 新潟県
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	田邊 嘉也	感染管理部	12,615,000	補 新潟県
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	田中 憲一	産科婦人科	972,000	補 新潟県
神経難病患者に対する医療ネットワーク体制と療養支援体制の構築に関する研究	西澤 正豊	神経内科	6,094,200	補 新潟県
培養細胞シートの長期不凍結保存技術の開発	中田 光	生命科学医療センター	2,660,000	補 独立行政法人 科学技術振興機構

小計26件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大腸癌術後の消化管機能異常に対する大建中湯(DKT:TJ-100)の臨床的効果	飯合 恒夫	第一外科	70,000	補 ○ 委 補 財団法人 がん集学的治療研究財団
骨粗鬆症患者におけるQOLとペインマネジメントに関するレジストリー	遠藤 直人	整形外科	19,000	補 ○ 委 補 (財)予防医学事業中央会
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究	青柳 豊	第三内科	340,000	補 ○ 委 補 (財)循環器病研究振興財団
頸動脈ステント留置術後の血管イベントの発祥に関する前向き観察研究	伊藤 靖	脳神経外科	252,000	補 ○ 委 補 (財)先端医療振興財団

合計105件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Journal of the American Society of Nephrology 5(2): 292-298, 2010	Cancellous bone volume is an indicator for trabecular bone connectivity in dialysis patients.	Junichiro James Kazama, Ryo Koda, Suguru Yamamoto, Ichiei Narita, Fumitake Gejyo, Akihide	第二内科
Allergology International 59(1): 53-57, 2010	Pulmonary function analysis of Japanese athletes: possibly even more asthmatics in the field.	Junta Tanaka, Takashi Hasegawa, Toshiyuki Koya, Masao Hashiba, Go Omori, Fumitake Gejyo, Eiichi Suzuki, Masaaki Arakawa	第二内科
Diabetes research and Clinical Practice 87(2): 228-232, 2010	Diabetic nephropathy remission and regression team trial in Japan (DENTT-Japan): Rationale and study design.	Kenichi Shikata, Masakazu Haneda, Daisuke Koya, Yoshiki Suzuki, Yasuhiko Tomino, Kenichi Yamada, Shiro Maeda, Norito Kawakami, Takashi Uzu, Motonobu Nishimura, Chikage Sato, Daisuke Ogawa, Hirofumi Makino	第二内科
Clinical and Experimental Nephrology 14(2): 144-151, 2010	Design and methods of a strategic outcome study for chronic kidney disease: Frontier of renal outcome modification in Japan.	Kuniniro Yamagata, Hirofumi Makino, Tadao Akizawa, Kunitoshi Iseki, Sadayoshi Itoh, Kenjiro Kimura, Daisuke Koya, Ichiei Narita, Tetsuya Mitarai, Masanobu Miyazaki, Yoshiharu Tsubakihara, Tsuyoshi	第二内科
Modern Rheumatology 20(3): 252-256, 2010	Anti-neutrophil cytoplasmic autoantibodies against bactericidal/permeability-increasing protein in patients with rheumatoid arthritis and their correlation with bronchial involvement.	Yoko Wada, Takeshi Kuroda, Akira Murasawa, Masaaki Nakano, Ichiei Narita	第二内科
American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine 181(12):1345-1354, 2010	Inhaled granulocyte/macrophage colony stimulating factor as therapy for pulmonary alveolar proteinosis.	Ryushi Tazawa, Bruce C. Trapnell, Yoshikazu Inoue, Toru Arai, Toshinori Takada, Yasuyuki Nasuhara, Nobuyuki Hizawa, Yasunori Kasahara, Koichiro Tatsumi, Masayuki Hojo, Haruyuki Ishii, Masanori Yokoba, Naohiko Tanaka, Etsuro Yamaguchi, Ryosuke Eda, Yoshiko Tsuchihashi, Konosuke Morimoto, Masanori Akira, Masaki Terada, Junji Otsuka, Masahito Ebina, Chinatsu Kaneko, Toshihiro Nukiwa,	第二内科
The Journal of Rheumatology 36(11): 2409-2415, 2010	Effective anti-TNF- α therapy can induce rapid resolution and sustained decrease of gastroduodenal mucosal amyloid deposits in reactive amyloidosis associated with rheumatoid arthritis.	Takeshi Kuroda, Yoko Wada, Daisuke Kobayashi, Shuichi Murakami, Takehito Sakai, Shintaro Hirose, Naohito Tanabe, Takako Sakai, Masaaki Nakano	第二内科
Clinical and Experimental Nephrology 14(1): 28-35, 2010	Maintaining high hemoglobin levels improved the left ventricular mass index and quality of life scores in pre-dialysis Japanese chronic kidney disease patients.	Hideki Hirakata, Yoshiharu Tsubakihara, Fumitake Gejyo, Shinichi Nishi, Yasuhiko Iino, Yuzou Watanabe, Masashi Suzuki, Akira Saito, Takashi Akiba, Daijo Inaguma, Shunichi Fukuhara, Satoshi Morita, Michiaki Hiroe, Yoshiyuki Hada, Makoto Suzuki, Makoto Akaishi, Kazutaka	第二内科

小計 8件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Kidney International 78(10), 1016-1023, 2010	Clinicopathological characteristics of patients with IgG4-related tubulointerstitial nephritis.	Takako Saecki, Shinichi Nishi, Naofumi Imai, Tomoyuki Ito, Hajime Yamazaki, Mitsuhiro Kawano, Motohisa Yamamoto, Hiroki Takahashi, Shoko Matsui, Shinji Nakada, Tomoki Origuchi, Akira Hirabayashi, Noriyuki Homma, Yutaka Tsubata, Takuma Takata, Yoko Wada, Akihiko Saito, Sachiko Fukase, Kunihiro Ishioka, Kana Miyazaki, Yasufumi Masaki, Hisanori	第二内科
Clinical Journal of the American Society of Nephrology 5(2): 292-298, 2010	Cancellous bone volume is an indicator for trabecular bone connectivity in dialysis patients.	Junichiro James Kazama, Ryo Koda, Suguru Yamamoto, Ichiei Narita, Fumitake Gejyo, Akihide	第二内科
The New England Journal of Medicine 362(25):2380-2388, 2010	Gefitinib or chemotherapy for non-small-cell lung cancer with mutated EGFR.	Makoto Maemondo, Akira Inoue, Kunihiro Kobayashi, Shuichi Sugawara, Satoshi Oizumi, Hiroshi Isobe, Akihiko Gemma, Masao Harada, Hirohisa Yoshizawa, Ichiro Kinoshita, Yuka Fujita, Shoji Okinaga, Haruto Hirano, Kozo Yoshimori, Toshiyuki Harada, Takashi Ogura, Masahiro Ando, Hitoshi Miyazawa, Tomoaki Tanaka, Yasuo Saijyo, Koichi	第二内科
The Journal of Immunology 184(10):5493-5501, 2010	Combination therapy of established tumors by antibodies targeting immune activating and suppressing molecules.	Kazuyoshi Takeda, Yuko Kojima, Tomoyasu Uno, Yoshihiro Hayakawa, Michele W. L. Teng, Hirohisa Yoshizawa, Hideo Yagita, Fumitake Gejyo, Ko Okumura, Mark J. Smyth	第二内科
Nephron Experimental Nephrology 117(4): e104-e113, 2010	Expression of SM22 α (Transgelin) in glomerular and interstitial renal injury.	Shigeru Inomata, Minoru Sakatsume, Yuichi Sakamaki, Wang Xingzhi, Shin Goto, T Yamamoto, Fumitake Gejyo, Ichiei Narita	第二内科
Clinical and Experimental Nephrology 15(1):86-91, 2010	Membranoproliferative pattern of glomerular injury associated with complement component 9 deficiency due to Arg95Stop mutation.	Takayoshi Miura, Shin Goto, Seitaro Iguchi, Hisaki Shimada, Mitsuhiro Ueno, Shin-ichi Nishi, Ichiei Narita	第二内科
The Journal of Immunology 185(1): 253-262, 2010	Plasticity of invariant NKT cell regulation of allergic airway disease is dependent on IFN-g production.	Hiroyuki Matsuda, Katsuyuki Takeda, Toshiyuki Koya, Masakazu Okamoto, Yoshiki Shiraiishi, Nobuaki Miyahara, Azzeddine Dakhama, Jennifer L. Matzuda, Laurent	第二内科
Digestive Diseases and Science	Fucosylated fraction of alpha-fetoprotein as a predictor of prognosis in patients with hepatocellular carcinoma after curative	田村 康	第三内科
Digestive Diseases and Science	Clinical Advantage of Highly Sensitive On-Chip Immunoassay for Fucosylated Fraction of Alpha-Fetoprotein in Patients with Hepatocellular Carcinoma.	田村 康	第三内科
Digestive Endoscopy	Self-limiting risk of metachronous gastric cancers after endoscopic resection.	小林 正明	第三内科
Case report in Gastroenterology	Very-Low-Dose Pegylated Interferon α 2a Plus Ribavirin Therapy for Advanced Liver Cirrhosis Type C: A Possible Therapeutic Alternative without Splenic Intervention.	大越 章吾	第三内科
World Journal of Hepatology	Multicentric occurrence of hepatocellular carcinoma with nonalcoholic steatohepatitis	川合 弘一	第三内科

小計 12件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World Journal of Hepatology	Shear wave velocity is a useful marker for managing nonalcoholic steatohepatitis.	大崎 暁彦	第三内科
Hepatology Research	Characterization of elevated alanine aminotransferase levels during pegylated-interferon α -2b plus ribavirin treatment for	青木 洋平	第三内科
日本門脈圧亢進症学会雑誌	EVLおよびEIS後に早期再発をきたした食道静脈瘤症例の検討 CTによる傍食道静脈の評価と早期再発との関連	横山 恒	第三内科
Schizophr Res	The dopamine D3 receptor (DRD3) gene and risk of schizophrenia: Case-control studies and an updated meta-analysis.	Nunokawa A	精神科
J Hum Genet	A case-control association analysis of CABIN1 with schizophrenia in a Japanese population.	Watanabe Y	精神科
Schizophr Res	Failure to find an association between myosin heavy chain 9, non-muscle (MYH9) and schizophrenia: A three-stage case-control association study.	Kaneko N	精神科
Schizophr Res	Diagnostic classification of schizophrenia by neural network analysis of blood-based gene expression signatures.	Someya T	精神科
J Neural Transm	Measurement and comparison of serum neureglin 1 immunoreactivity in control subjects and patients with schizophrenia: An influence of its genetic polymorphism.	Shibuya M	精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	The wide variability of perospirone metabolism and the effect of perospirone on prolactin in psychiatric patients.	Suzuki Y	精神科
Psychiatry Res Neuroimaging	5-HTTLPR polymorphism influences prefrontal neuralchemical metabolites in autism spectrum disorder.	Endo T	精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Gender difference in the relationship between the risperidone metabolism and the plasma prolactin levels in psychiatric patients.	Suzuki Y	精神科
Hum Psychopharmacol	Differences in clinical effect and tolerance between fluvoxamine and paroxetine: A switching study in patients with depression.	Suzuki Y	精神科
Schizophr Res	A case-control study and meta-analysis of association between a common copy number variation of the glutathione S-transferase mu 1 (GSTM1) gene and schizophrenia (letter).	Watanabe Y	精神科
Psychiatry Res Neuroimaging	Reduced thalamic volume observed across different subgroups of autism spectrum disorders.	Tamura R	精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Increase in the risk of chlorpromazine-induced QT prolongation during nighttime: Is a short-period ECG during daytime sufficient?	Suzuki Y	精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Aripiprazole monotherapy in a patient with major depressive disorder.	Yokoyama Y	精神科
Psychiatry Clin Neurosci	Significant interaction of manic episodes with the clinical course of the obsessive-compulsive disorder.	Kitamura H	精神科
臨床精神薬理	Fluvoxamineからparoxetineへ置換した際のうつ病患者における忍容性の違い。	常山暢人	精神科
精神医学	精神科疾患の診断をめぐる諸問題 -精神科医327名のアンケート調査から-	江川純	精神科
今日の治療指針2010版 医学書院 pp 378-379 2010.1.1	高カロリー輸液	島山 勝義	第一外科
臨床外科 65(3);328-331,2010.3.20	手術における指導的助手とその役割	島山 勝義	第一外科
Medicament News 第2009号 p 27 2010.3.5	第96回日本消化器病学会総会の開催にあたって	島山 勝義	第一外科
今日の診断指針 医学書院 pp 747-748 2010.3.15	直腸肛門周囲膿瘍	島山 勝義	第一外科
今日の診断指針第6版 医学書院 pp 748-750 2010.3.15	痔瘻	島山 勝義	第一外科
標準外科学12版 医学書院 pp 559-580 2010.3.15	直腸および肛門管	島山 勝義	第一外科

小計 25件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Clin Oncol 2010; 40, 60-72.	Pfetin as a prognostic biomarker in gastrointestinal stromal tumor; novel monoclonal antibody and external validation study in multiple clinical fascilities.	神田 達夫	第一外科
臨床病理 58(2): 162-8, 2010.	小腸マーカーとしての腸型脂肪酸結合蛋白 (I-FABP)	神田 達夫	第一外科
消化器内科50(2): 134-9, 2010.	転移・再発性GISTに対するイマチニブ治療—二次耐性腫瘍切除とその遺伝子分析	神田 達夫	第一外科
Cancer Chemoth Pharm 2010; 65, 961-967.	Phase II study of motesanib in Japanese patients with advanced gastrointestinal stromal tumors with prior exposure to imatinib mesylate.	神田 達夫	第一外科
今日の消化器疾患治療指針 (幕内雅敏 他・編), 医学書院, 東京, 2010, p920-923.	消化管間質腫瘍	神田 達夫	第一外科
臨床消化器内科25(6): 701-9, 2010.	再発性GISTの治療戦略	神田 達夫	第一外科
内科105(6): 1053-7, 2010.	消化管間質腫瘍	神田 達夫	第一外科
Cancer Science 2010; 101, 1270-8.	Pleomorphic phenotypes of gastrointestinal stromal tumors at metastatic sites with or without imatinib treatment.	神田 達夫	第一外科
GIST診療ハンドブック (小松嘉人編), ヴァンメディカル, 東京, 2010, p78-94.	GISTの治療: 外科治療	神田 達夫	第一外科
図説臨床看護医学 デジタル版: 3.消化器 (幕内博康, 安田聖栄編), エディターシップ, 東京, 2010, p1-5.	消化管間質腫瘍 (GIST)	神田 達夫	第一外科
World J Gastroenterol 2010; 16, 4367-70.	Gastrojejunostomy followed by induction chemotherapy for incurable gastric cancer with outlet obstruction.	神田 達夫	第一外科
日本腹部救急医学会雑誌30(6): 740, 2010.	第46回日本腹部救急医学会総会会長賞受賞記事: 血中腸型脂肪酸結合蛋白測定による虚血性小腸疾患—基礎から臨床へ	神田 達夫	第一外科
J Smooth Muscle Res 2010; 46, 235-48.	Local differences in electrogastrophic indices associated with total colectomy, distal gastrectomy and colonic replacement.	神田 達夫	第一外科
Transplantation 2010; 90: 1200-1203	Method for spontaneous constriction and closure of porto-caval shunt using a ligamentum teres hepatis in small-for-size graft liver transplantation	佐藤 好信	第一外科
肝胆膵 2010; 61(2): 149-159	門脈圧亢進症における脾臓の役割: 免疫学的観点から	佐藤 好信	第一外科
日門亢会誌 2010; 16: 19-25	肝移植と門脈圧亢進症—shear stress理論と過小グラフトへの対策の変遷—	佐藤 好信	第一外科
外科 2010; 72(11): 68-79	特集: 門脈と脾臓のup date II 脾臓 3. 脾摘は肝機能を改善するか	佐藤 好信	第一外科
日本臨床増刊号: 静脈・経腸栄養 (第3版) 2010; 457-468	VI. 各種疾患、病態における静脈・経腸栄養の実際。臓器移植	佐藤 好信	第一外科
臨外65: 486-492, 2010	進行大腸癌に対するneoadjuvant chemotherapyの適応と意義	飯合 恒夫	第一外科
臨外65[増刊]: 278-284, 2010	【外科医のための大腸癌の診断と治療】大腸癌の外科治療 開腹手術 大腸全摘術 潰瘍性大腸炎, 家族性大腸腺腫症	飯合 恒夫	第一外科
Pp520-522 医学書院 (東京) 2010	大腸粘膜下腫瘍. 今日の消化器疾患治療指針 (第3版) 幕内雅敏, 菅野謙太郎, 工藤正俊 編	飯合 恒夫	第一外科
Pp404-412 日本メディカルセンター (東京) 2010	炎症性腸疾患の外科治療. 大腸疾患診療のStrategy 齊藤裕輔, 田中信治, 渡邊聡明 編	飯合 恒夫	第一外科
外科治療102[増刊]: 566-571, 2010	縫合・吻合法の実際 小腸・小腸 (結腸) 吻合	飯合 恒夫	第一外科
手術64: 1093-1099, 2010	必読 炎症性疾患手術. 潰瘍性大腸炎に対する外科治療	飯合 恒夫	第一外科
Am J Surg Pathol 2010; 34: 65-74.	Mode of hepatic spread from gallbladder carcinoma: an immunohistochemical analysis of 42 hepatectomized specimens.	若井 俊文	第一外科

小計 25件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncol Rep 2010;23:965-972.	Multidrug resistance-associated protein 2 determines the efficacy of cisplatin in patients with hepatocellular carcinoma.	若井 俊文	第一外科
Anticancer Res 2010;30:2279-2285.	Aberrant expression of vimentin correlates with dedifferentiation and poor prognosis in patients with intrahepatic cholangiocarcinoma.	若井 俊文	第一外科
消化器内科 2010;50(1):72-79.	【多様化する転移性肝癌の治療選択】大腸癌肝転移における肝内微小転移に対する1cmマージンの意義	若井 俊文	第一外科
外科治療 2010;102(3):232-238.	【一般外科医が知っておくべき胆道癌外科治療の現状】進行胆嚢癌における術式選択	若井 俊文	第一外科
日本臨床 2010;68(3):369-372.	【静脈・経腸栄養(第3版) 基礎・臨床研究のアップデート】各種疾患、病態における静脈・経腸栄養の実際 胆道系疾患 胆嚢炎、胆石症における静脈・経腸栄養	若井 俊文	第一外科
Nutrition Care 2010;3(6):614-617.	【イラストと画像でわかる!消化器疾患の栄養療法肝胆膵編】肝臓・胆嚢・胆管・膵臓疾患と栄養療法 胆石症・胆石症イレウス	若井 俊文	第一外科
Nutrition Care 2010;3(6):618-621.	【イラストと画像でわかる!消化器疾患の栄養療法肝胆膵編】肝臓・胆嚢・胆管・膵臓疾患と栄養療法 胆嚢炎	若井 俊文	第一外科
胆道 2010;24(5):667-674.	胆管癌根治切除後の胆管切離断端に遺残した上皮内癌における早期DNA損傷修復応答と局所再発との関連	若井 俊文	第一外科
新潟医学会雑誌 2010;124(11):639-643.	肝内結石・総胆管結石症に併存した肝内胆管癌の1例	若井 俊文	第一外科
J Smooth Muscle Res 2010; 46, 235-48.	Local differences in electrogastric indices associated with total colectomy, distal gastrectomy and colonic replacement.	小杉 伸一	第一外科
臨外 65 (8):1090-1095, 2010	[食道癌に対するESD] 新潟大学歯学総合病院での「外科の対応」	小杉 伸一	第一外科
新潟医学会雑誌・第124巻・第3号・p161-166	腸重積の原因となった下行結腸脂肪腫に対し腹腔鏡補助下手術を施行した1例	野上 仁	第一外科
日本内視鏡外科学会雑誌・第15巻・第2号。P169-174	腹腔鏡補助下直腸癌手術症例の検討	野上 仁	第一外科
Surgery Today 40; 1183-1187, 2010	A two-step laparoscopy assisted curative resection for a patient with obstructive colitis accompanied by advanced sigmoid colon cancer: report of a case.	矢島 和人	第一外科
Transplant Proc. 2010 Apr;42(3):990-3	Auxiliary partial orthotopic living donor liver transplantation for fulminant hepatic failure with flat electroencephalogram: a case report.	小林 隆	第一外科
Esophagus(2010)7:65-69	Surgical resection of gastrointestinal stromal tumor of esophagus following preoperative imatinib treatment: a case report	佐藤 洋樹	第一外科
日鏡外会誌・15・1・53-57	癒着性腸閉塞症に対する腹腔鏡下癒着剥離術25例の検討	池田 義之	第一外科
Dis Colon Rectum 53(5):771-778, 2010	Clinical impact of mesorectal extranodal cancer tissue in rectal cancer: detailed pathological assessment using whole-mount sections.	島田 能史	第一外科
大腸疾患NOW2010:142-149, 2010	免疫染色による微小リンパ節転移の臨床的意義	島田 能史	第一外科
膵臓 25巻4号 Page542-547	十二指腸乳頭部癌に対する幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後に発症した残膵癌の1例	高野 可赴	第一外科
日本消化器外科学会雑誌43巻12号 Page1270-1275	膵癌切除例における遅発性孤立性肺転移の臨床病理組織学的特徴と化学療法の意義	高野 可赴	第一外科
新潟医学会雑誌124:222-227, 2010	腹腔鏡下直腸吊り上げ固定術による直腸脱の治療経験	中野 雅人	第一外科
Cancer. 2010;116(2):400-405.	Depth of invasion determines the postresectional prognosis for patients with T1 extrahepatic cholangiocarcinoma.	永橋 昌幸	第一外科
J Biol Chem. 2010;285(14):10477-10486.	Estradiol induces export of sphingosine 1-phosphate from breast cancer cells via ABCG1 and ABCG2.	永橋 昌幸	第一外科

小計24件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Gastroenterol. 2010;16(32):4003-4012.	Lymphangiogenesis: a new player in cancer progression.	永橋 昌幸	第一外科
FEBS Lett. 2010;584(18):4077-4082.	Lysophosphatidic acid stimulates gastric cancer cell proliferation via ERK1-dependent upregulation of sphingosine kinase 1 transcription	永橋 昌幸	第一外科
乳癌の臨床第25巻第2号217-222	乳腺matrix-producing carcinoma(MPC)の1例	萬羽 尚子	第一外科
J Pediatr Surg	Mortality and morbidity of patients with neuroblastoma who survived for more than 10 years after treatment - Niigata Tumor Board	Kubota M	小児外科
Surgery Today	The role of surgery in the treatment of neuroblastoma	Kubota M	小児外科
Pediatr Surg Int	Usefulness of bFGF spray in the treatment of perianal abscess and fistula-in-ano.	Kubota M	小児外科
Pediatr Surg Int	Effects of neuromodulation with sacral magnetic stimulation for intractable bowel or bladder dysfunction in postoperative patients with anorectal malformation: a preliminary report.	Kubota M	小児外科
皮膚と美容, 42(1):11-16, (2010.5)	ちぎれやすくなる毛髪奇形	橋本 剛	皮膚科
Annals of Oncology,21(5):1032-1040(2010,5)	Prognostic factors for mature natural killer (NK) cell neoplasms: aggressive NK cell leukemia and extranodal NK cell lymphoma, nasal type	伊藤雅章	皮膚科
日皮会誌,120(9):1841-1859(2010.8)	日本皮膚科学会円形脱毛症診療ガイドライン2010	伊藤雅章	皮膚科
臨皮,64(13):1038-1040(2010.12)	足底に生じた色素性Spitz母斑の1例	五十嵐可奈子	皮膚科
皮膚臨床,52(11):1672-1675,(2010.10)	円形脱毛症 ステロイド内服療法	荻谷直之	皮膚科
臨皮,64(7):497-499(2010.6)	植皮部に生じたtraumatic neuromaの1例	株本武範	皮膚科
新潟県医師会報, NO.726:2-7 (2010.9)	毛を科学する	下村 裕	皮膚科
皮膚臨床,52(9):1251-1254(2010.9)	内眼角部悪性腫瘍切除後の再建例	伊藤雅章	皮膚科
Dermatology,221(2):179-183(2010)	A Nonsense Mutation in the SCN9A Gene in Congenital Insensitivity to Pain	下村 裕	皮膚科
Dermatology,221(3):243-247(2010)	A common founder mutation in the EDA-A1 gene in X-linked hypodontia	下村 裕	皮膚科
Nature,466(7302):113-117(2010.7)	Genome-wide association study in alopecia areata implicates both innate and adaptive immunity	下村 裕	皮膚科
Annu Rev Genomics Hum Genet,11:109-132(2010.9.22)	Biology and genetics of hair	下村 裕	皮膚科
Nature,464(7291):1043-1047(2010.4.15)	APCDD1 is a novel Wnt inhibitor mutated in hereditary hypotrichosis simplex	下村 裕	皮膚科
Am J Hum Genet,86(4):632-638(2010.4.9)	Autosomal-Dominant Woolly Hair Resulting from Disruption of Keratin 74(KRT74), a Potential Determinant of Human Hair Texture	下村 裕	皮膚科
Dematology,220(1):8-14(2010)	NIPAL4/Ichthyin Is Expressed in the Granular Layer of Human Epidermis and Mutated in Two Pakistani Families with Autosomal Recessive Ichthyosis	下村 裕	皮膚科
J Med Genet,47(8):538-548(2010.8)	Neuroblastoma amplified sequence gene is associated with a novel short stature syndrome characterised by optic nerve atrophy and Pelger-Huet anomaly	下村 裕	皮膚科
Cellular Logistics, 1(1):1-9(2011.1-2)	Involvement of pigment globules containing multiple melanosomes in the transfer of melanosomes from melanocytes to keratinocytes	伊藤雅章	皮膚科
臨皮,65(1):83-92(2011.1)	アトピー性皮膚炎患者における前向きアンケート調査(第2報)	伊藤雅章	皮膚科
臨皮,65(2):135-139(2011.2)	下肢の皮下結節と神経症状で発症したサルコイドーシスの1例	清水純子	皮膚科

小計26件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hum Genet,56(1):77-79(2011.1)	A Japanese trichothiodystrophy patient with XPD mutations	佐藤信之	皮膚科
新潟医学会雑誌	3テストMRI信号の時系列パターン解析によるヘンシュル回の機能的左右差	泉修司	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	シリーズ 知っておきたい生理病態の基礎 9.聴覚中枢	泉修司	耳鼻咽喉科
Progress in Medicine	特集 内科医のための耳鼻科疾患の診かたと治療 難聴・耳鳴り	和田匡史	耳鼻咽喉科
Audiology Japan	小児発達障害専門施設から難聴を疑われて受診した児の検討	和田匡史	耳鼻咽喉科
JOHNS	電音難聴の耳よりな話 電音難聴の画像所見	山本裕	耳鼻咽喉科
JOHNS	症例をどう見るか 後頭蓋窩に進展した巨大コレステリン肉芽主	山本裕	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床	美出血318」例の検討	太田久幸	耳鼻咽喉科
新潟医学会雑誌	嚥下障害のメカニズムと対策 I 病院の立場から 当科内視鏡外来での嚥下障害患者への取り組み	富田雅彦	耳鼻咽喉科
JOHNS	特集 お母さんへの回答マニュアル耳鼻咽喉科 Q&A2010 保母さんに声がれが多いように思いますが、なぜですか？	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
JOHNS	特集 お母さんへの回答マニュアル耳鼻咽喉科 Q&A2010 小学生の長男の声がれが続いていますが、心配ないでしょうか？	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
新潟県医師会報	頭頸部癌の診断と治療	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	扁平上皮癌・甲状腺癌・血液疾患以外の頭頸部悪性腫瘍症例の検討	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
Gynecol Obstet Invest.	A case study of a pregnant patient with a congenital heart block accompanied by left isomerism and uncontrolled type 2 diabetes who was treated successfully with ritodrine.	芹川武大	周産母子センター
J Hum Genet.	Meta-analysis of genome-wide association scans for genetic susceptibility to endometriosis in Japanese population.	安達聡介	産婦人科
Gynecol Oncol.	Serum leptin-adiponectin ratio and endometrial cancer risk in postmenopausal female subjects.	芦澤直浩	産婦人科
PLoS One.	Gene expression profile for predicting survival in advanced-stage serous ovarian cancer across two independent datasets.	吉原弘祐	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res.	Preoperative transvaginal ultrasound guided needle biopsy for primary squamous cell carcinoma of the endometrium.	加嶋克則	産婦人科
Int J Gynecol Cancer.	Conservative treatment of stage IA1 adenocarcinoma of the uterine cervix with a long-term follow-up.	八幡哲郎	産婦人科
Obstet Gynecol.	Antituberculosis treatment for a patient with massive ascites: the role of f-18-fluorodeoxyglucose positron emission tomography.	八幡哲郎	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res.	Analysis of the complications after radical hysterectomy for stage IB, IIA and IIB uterine cervical cancer patients.	加嶋克則	産婦人科

小計21件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Obstet Gynaecol Res.	J Obstet Gynaecol Res. 2010 Dec;36(6):1151-60. doi: 10.1111/j.1447-0756.2010.01299.x. Increased pulsatility of the ductus venosus blood velocity in the first trimester is associated with the delivery of small for gestational age or low birth weight infants.	土谷美和	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res.	Fulminant type 1 diabetes mellitus acutely emerged during pregnancy.	山田京子	産婦人科
麻酔	胸部硬膜外麻酔に非侵襲的陽圧換気を併用した低肺機能患者の麻酔経験	本田博之	麻酔科
Mol Pain	Xenon inhibits excitatory but not inhibitory transmission in rat spinal cord dorsal horn neurons	Georgiev S	麻酔科
麻酔	マンニトール投与後に高カリウム血症を呈した1症例	飛田一樹	麻酔科
J Anesth	Can intraoperative TEE correctly measure residual shunt after surgical repair of ventricular septal defects?	Kurokawa S	麻酔科
J Anesth	Knotting of two central venous catheters: a rare complication of pulmonary artery catheterization	Hida S	麻酔科
麻酔	血管確保に難渋したメンケス病患児の全身麻酔管理	吉田敬之	麻酔科
麻酔	左肺癌手術中に迷走神経刺激による高度徐脈、心停止を来した1症例	山本知裕	麻酔科
J Clin Anesth	A case of central cord syndrome following thyroidectomy	Watanabe T	麻酔科
麻酔	喉頭横隔膜症を合併した小児症例のアデノイド・口蓋扁桃摘出術に対する麻酔管理	山本知裕	麻酔科
新潟医学会雑誌	組織ドブラ法を用いた心機能評価による心臓手術後変力作用薬補助予測の有用性	今井英一	麻酔科
Asian J. Oral Maxillofac Surg	Clinical Study on Root Resorption of Auto-transplanted Teeth with Complete Root Formation	Niimi Kanae	組織再建口腔外科
Int J Oral Maxillofac Surgery	Clinical Study on Prognostic Factors of Autotransplantation of Teeth with Complete Root Formation	Sugai Toshiko	組織再建口腔外科
Int J Oral Maxillofac Surg	Changes in oropharyngeal airway and respiratory function during sleep after orthognathic surgery in patients with mandibular prognathism	Hasebe Daichi	組織再建口腔外科
Br J Oral Maxillofac Surg	Progressive condylar resorption after mandibular advancement	Kobayashi Tadaharu	組織再建口腔外科
Int J Oral Maxillofac Surg	Complication of adenoid cystic carcinoma and sialolithiasis in the submandibular gland: report of a case and its etiological background	Hasegawa Marumi	組織再建口腔外科
顎変形誌	重度の下顎前突と咬筋肥大を呈した成長ホルモン分泌不全症の1例	加藤寛子	組織再建口腔外科
新潟歯学会雑誌	ヒト口腔扁平上皮癌細胞株における血管内皮細胞増殖因子と血管内細胞増殖因子受容体の相互作用 VEGF-AおよびVEGF-C刺激によるmRNA発現レベルの動態	金丸祥平	組織再建口腔外科
Pathobiology	Enhanced expression of podoplanin in oral carcinomas in situ and squamous cell carcinomas	Funayama Ainori	組織再建口腔外科
Oral Oncol	Emergence of keratin 17 vs. loss of keratin 13; their reciprocal immunohistochemical profiles in oral carcinoma in situ	Mikami T	組織再建口腔外科
J Oral Maxillofac Surg	Keratinocytes of tissue engineered human oral mucosa promote re-epithelialization after intraoral grafting in athymic mice	Yoshizawa Michiko	組織再建口腔外科

小計22件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology and Endodontology	Effects of Intermittent Parathyroid Hormone Treatment on New Bone Formation during Distraction Osteogenesis in the Rat Mandible	Mir Nowazesh Ali	組織再建口腔外科
Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	Changes in masticatory functions after surgical orthognathic treatment in patients with jaw deformities: Efficacy of masticatory exercise using chewing gum	Kensuke KATO	組織再建口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	顎変形症患者の顎関節症状と顎顔面形態との関連	相川 弦	組織再建口腔外科
新潟歯学会雑誌	頬粘膜癌扁平上皮癌の臨床的検討	新美奏恵	組織再建口腔外科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod.	Morphologic evaluation of the inferior alveolar nerve in patients with sensory disorders by high-resolution 3D volume rendering magnetic resonance neurography on a 3.0-T system.	Terumitsu M, Seo K,他	歯科麻酔学分野
口腔衛生会誌	揮発性硫黄化合物産生抑制におけるプロポリス含嗽剤14日間使用の効果 無作為化クロスオーバー試験による検討	宮崎秀夫	予防歯科
Osteoporos. Int.	Relationship between mandibular inferior cortex and bone stiffness in Japanese elderly people	宮崎秀夫	予防歯科
Nutrition	Longitudinal relationship between dietary omega-3 fatty acids and periodontal disease	宮崎秀夫	予防歯科
Journal of Endodontics	Influence of the diameter and taper of root canals on the removal efficiency of Thermafil Plus plastic carriers using ProTaper Retreatment Files	早川達也	歯の診療室
Dental Materials Journal	Effect of overglazed and polished surface finishes on the compressive fracture strength of machinable ceramic materials	浅井哲也	歯の診療室
Dental Materials Journal	Morphological and chemical analysis of different precipitates on mineral trioxide aggregate immersed in different fluids	韓 臨麟	歯の診療室
日本歯科保存学雑誌	Mineral Trioxide Aggregateの生体機能性 -根管象牙質への元素の移行-	韓 臨麟	歯の診療室
日本歯内療法学会雑誌	GT Series X Rotary FileのS字状湾曲根管に対する切削特性	富田文仁	歯の診療室
接着歯学	CAD/CAMオールセラミックインレーの被着面酸処理が破折強度に及ぼす影響	渡部平馬	歯の診療室
Journal of Periodontology. 2010, June; 81 (6): 897-906.	Peroxisome proliferator-activated receptor-gamma polymorphism and periodontitis in pregnant Japanese women.	平野絵美	歯周病診療室
Journal of Periodontology. 2010, August; 81 (8): 1118-1123.	The effects of periodontal treatment on serum leptin, interleukin-6, and C-reactive protein.	島田靖子	歯周病診療室
Journal of Periodontology. 2010, November; 81 (11): 1555-1563.	Effects of irrigation with an antiseptic and oral administration of azithromycin on bacteremia caused by scaling and root planning.	両角俊哉	歯周病診療室
Journal of Periodontology. 2010, November; 81 (11): 1653-1662.	Collagen-coated poly(L-lactide-co-ε-caprolactone) film: A promising scaffold for cultured periosteal sheets.	川瀬朋之	歯周病診療室
Journal of Periodontal Research. 2010, December; 45(6):780-787.	Proteomic profiling of human neutrophils in relation to immunoglobulin G Fc receptor IIIB polymorphism.	横山智子	歯周病診療室
Archives of Oral Biology. 2011, March; 56: 277-284.	Microarray and quantitative RT-PCR analyses in calcium-channel blockers induced gingival overgrowth tissues of periodontitis patients.	清水太郎	歯周病診療室

小計20件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Indonesian Journal of Dental Research	Analysis of patients visiting Niigata Medical and Dental Hospital with chief complaints of dental metal allergy and/or dental focal infection in the previous 8 years.	秋葉陽介	義歯(冠・ブリッジ)診療室
Revista Romana de Stomatologie	Towards the establishment of a 3-D finite element model to investigate stress distribution around an implant under excessive load in a rat model: optimal implant location and dimensions	高野遼平	義歯(冠・ブリッジ)診療室
Clin Exp Allergy 40: 317-326, 2010	A prostacyclin agonist with thromboxane inhibitory activity for airway allergic inflammation in mice.	Hayashi M, Koya T, Kawakami H, Sakagami T, Hasegawa T, Kagamu H, Takada T, Sakai Y, Suzuki E, Gelfand EW, Gejyo F.	第二内科,医科総合診療部
Allergol Int 46: 53-57, 2010	Pulmonary function analysis of Japanese athletes: possibly even more asthmatics in the field.	Tanaka J, Hasegawa T, Koya T, Hashiba M, Omori G, Gejyo M, Suzuki E, Arakawa M.	第二内科,医科総合診療部
Journal of Periodontology	Serum cytokine and periodontal profiles in relation to disease activity of rheumatoid arthritis in Japanese adults.	Kobayashi T et al.	歯科総合診療部
Biomaterials	Periodontitis, periodontopathic bacteria and lactoferrin. Biomaterials.	Wakabayashi H et al.	歯科総合診療部
Journal of Periodontal Research	Proteomic profiling of human neutrophils in relation to immunoglobulin G Fc receptor IIIB polymorphism	Yokoyama T, Kobayashi T, et al.	歯科総合診療部
日顎変形誌	新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における過去10年間の外科的矯正治療適用症例の動向	小栗由充	矯正歯科診療室
日顎変形誌	骨格性下顎前突症患者における嚥下時筋活動様式の特徴	篠倉千恵	矯正歯科診療室
Orthodontic Waves-Japanese Edition	口唇裂・口蓋裂患者における裂型別永久歯先天性欠如の調査	渡邊洋平	矯正歯科診療室
Orthodontic Waves	Availability of air powder polishing with crystalline cellulose as a prophylactic method for orthodontic patients with a multibracket appliance	Makiko Fukushima-Shinzawa	矯正歯科診療室
World J Orthodontics	Clinical considerations in adult orthodontic treatment	Isao Saito	矯正歯科診療室
口腔腫瘍 2010;22(1):25-36	舌癌症例における口底部の介在リンパ節転移の画像診断学的検討	星名由紀子	歯科・画像診断
日歯医学会誌 2010;29:57-61	顎関節症の画像診断ガイドラインの策定	林 孝文	歯科・画像診断
新潟医学会雑誌	嚥下障害のメカニズムと対策.	井上 誠	加齢歯科
口腔衛生学会雑誌	高齢者の口腔乾燥感と神経症症状および服薬との関連.	船山さおり	加齢歯科
日本救急医学会雑誌	自宅における突然の心停止を対象とした自動体外除細器の効果的配置の検討-地理情報システムを用いたシミュレーション-	遠藤 裕 他	高次救命災害治療センター
J Anesth	Prompt prediction of successful defibrillation from one-second ventricular fibrillation waveform in patients with out-of-hospital sudden cardiac arrest	遠藤 裕 他	高次救命災害治療センター
J Anesth	Knotting of two central venous catheters: a rare complication of pulmonary artery catheterization	肥田 誠治 他	高次救命災害治療センター
Criti Care Med (sup)	Baroreflex Sensitivity in Septic Patients	遠藤 裕 他	高次救命災害治療センター
臨床病理	血液培養から分離した真菌の薬剤感受性および抗真菌薬の使用状況に関する検討	茂呂 寛 他	集中治療部
J Bone Miner Res	A patient with severe hypercalcemia in multiple organ dysfunction syndrome: role of elevated circulating 1alpha,25(OH)2 vitamin D levels	風間 順一郎 他	集中治療部

小計22件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Experimental and therapeutic medicine	Effect of the interaction between the amount and duration of alcohol consumption and tobacco smoking on the risk of esophageal cancer:A case-control study.	Chen J	医療情報部
International Journal of Urology	Kattan postoperative nomogram for renal cell carcinoma:Predictive accuracy in a Japanese population.	Suzuki K	医療情報部
Journal of Theoretical Biology	A stochastic model of neuronal growth cone guidance regulated by multiple sensors.	Kobayashi T	医療情報部
The Journal of asthma	Associations of age and birth cohort with total and specific IgE antibody levels.	Tsukioka K	医療情報部
Health	Internal environment for growth of cancer cells in mice:hypothermia, anemia and lymphocytopenia.	Watanabe M	医療情報部
厚生指標	居宅介護支援事業所の介護支援専門員からみた地域包括支援センターの現状と問題点の分析	菅村佳美	医療情報部
N Engl J Med.	Efficacy and safety of sirolimus in lymphangioliomyomatosis.	McCormack FX, Inoue Y, Nakata K, Trapnell BCほか; National Institutes of Health Rare Lung Diseases Consortium; MILES Trial Group.	生命科学医療センター
European Respir. J.	Clinical features of secondary pulmonary alveolar proteinosis: pre-mortem cases in Japan.	Ishii H, Tazawa R(10人略),Nakata K.	生命科学医療センター
J. Med. Genetics,	Adult-onset hereditary pulmonary alveolar proteinosis caused by a deletion in CSF2RB.	Tanaka T, Motoi N, Tsuchihashi Y, Tazawa R, (8人略) Nakata K, Morimoto K.	生命科学医療センター
Cytokine & Growth Factor Reviews.	High avidity cytokine autoantibodies in health and disease: Pathogenesis and Mechanisms.	Watanabe M,Uchida K,Nakagaki K, Trapnell BC, Nakata K(corresponding author).	生命科学医療センター
Am J Respir Crit Care Med.	Patient-derived GM-CSF Autoantibodies Reproduce Pulmonary Alveolar Proteinosis in Non-human Primates.	Sakagami T,(6人略)Nakata K, (5人略),Trapnell BC.	生命科学医療センター
Am J Respir Crit Care Med.	Pulmonary alveolar proteinosis associated with dust inhalation: not secondary but autoimmune?	Costabel U, Nakata K.	生命科学医療センター
Am J Respir Crit Care Med.	Inhaled Granulocyte/Macrophage-Colony Stimulating Factor as Therapy of Pulmonary Alveolar Proteinosis.	Tazawa R, Trapnell BC, (23人略), Nakata K(corresponding author).	生命科学医療センター
J Immunol. Methods.	A cell free assay to estimate the neutralizing capacity of granulocyte-macrophage colony-stimulating factor autoantibodies.	Urano S, (8人略) Nakata K.(corresponding author).	生命科学医療センター
J Mol Cell Cardiol	Establishment of culturing system for ex-vivo expansion of angiogenic immature erythroid cells, and its application for treatment of patients with chronic severe lower limb ischemia.	Oda M, Fuse I, et al.	輸血・再生医療部門
Int J Hematol	Pharmacokinetic and pharmacodynamic analysis of cyclosporine A (CsA) to find the best single time point for the monitoring and adjusting of CsA dose using twice-daily 3-h intravenous infusions in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Furukawa T, Fuse I, et al.	輸血・再生医療部門
Med Oncol	WT1 peptide vaccination in a CML patient: induction of effective cytotoxic T lymphocytes and significance of peptide administration interval.	Saitoh A, Fuse I, et al.	輸血・再生医療部門
Intern Med	Successful remission of Evans syndrome associated with Graves' disease by using propylthiouracil monotherapy.	Ushiki T,Fuse I, et al.	輸血・再生医療部門
Int J Lab Hentaol	Kinetics of pDCs, mDCs, γ δ T cells and regulatory T cells in association with graft versus host disease.after hematopoietic stem cell transplantation.	Watanabe N, Fuse I, et al.	輸血・再生医療部門

小計19件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Journal of Immunology	Combination Therapy of Established Tumors by Antibodies Targeting Immune Activating and Suppressing Molecules.	Takeda K, Kojima Y, Uno T, Yoshizawa H, et al.	治験センター部門
The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE	Gefitinib or Chemotherapy for Non-Small Cell Lung Cancer with Mutated EGFR.	Maemondo M, Inoue A, Yoshizawa H, et al.	治験センター部門
Bio Med Central	Clinical responses to EGFR-tyrosine kinase inhibitor retreatment in non-small cell lung cancer patients who benefited from prior effective gefitinib therapy: a retrospective analysis.	Watanabe S, Tanaka J, Yoshizawa H, et al.	治験センター部門
BMC Health Serv Res. 2010 27;10:106	World Health Organization fracture risk assessment tool in the assessment of fractures after falls in hospital	Toyabe S	医療安全管理部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2011 Feb 3	Prediction of range of motion 2 years after mobile-bearing total knee arthroplasty: PCL-retaining versus PCL-sacrificing	Ishii Y, Noguchi H, Takeda M, Sato J, Toyabe S	医療安全管理部
J Arthroplasty 2011;26(2):255-9	Changes in the medial and lateral posterior condylar offset in total knee arthroplasty	Ishii Y, Noguchi H, Takeda M, Ishii H, Toyabe S	医療安全管理部
Nihon Kokyuki Gakkai Zasshi. 2010;48(12):898-905	Relationship between asthma severity and age at onset in Japanese adults	Tsukioka K, Toyabe S, Akazawa K	医療安全管理部
Nihon Kokyuki Gakkai Zasshi. 2010;48(7):475-81	The relationship between the duration and severity of asthma	Tsukioka K, Toyabe S, Akazawa K	医療安全管理部
Nihon Kokyuki Gakkai Zasshi. 2010;48(6):409-18	Total and specific IgE levels in adolescents and adults with bronchial asthma	Tsukioka K, Toyabe S, Akazawa K	医療安全管理部
Arerugi. 2010;59(6):699-705	Risk factors for persistent and relapsed childhood-onset asthma	Tsukioka K, Toyabe S, Akazawa K	医療安全管理部
Neurol Med Chir (Tokyo)	Diagnostic neuroimaging by magnetic resonance imaging: update.	藤井幸彦 他	脳研究所 脳神経外科学分野
Neurosurgery	Routine use of debris aspiration before retrieval of distal filter protection devices in carotid arterial stenting: analysis of captured debris and evaluation of clinical results.	反町隆俊 他	脳研究所 脳神経外科学分野
J Neuroimaging	Three-dimensional digital subtraction angiography in evaluation of vertebro-basilar artery dissections: comparison with 2D DSA.	反町隆俊 他	脳研究所 脳神経外科学分野
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Facial nerve motor-evoked potential monitoring during microvascular decompression for hemifacial spasm.	福多真史、他	脳研究所 脳神経外科学分野
J Neurosurgery: Pediatric	Sturge-Weber syndrome associated with arteriovenous malformation in a patient presenting with progressive brain edema and cyst formation.	西野和彦、他	脳研究所 脳神経外科学分野
Neurosurgery	Presurgical simulation with advanced 3-dimensional multifusion volumetric imaging in patients with skull base tumors.	大石 誠、他	脳研究所 脳神経外科学分野

合計240件

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入するこ

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 内山 聖
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 波塚 章生

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		(医) 病歴管理室 フィルム管理室 電算機室 (歯) 医事課事務室	外来・・・1患者につき1カルテ番号方式 入院・・・1患者1入院につき1カルテ方式 外来・・・平成23年1月以降 電子媒体 平成22年12月以前 紙媒体 入院・・・電子媒体(1部紙媒体)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療保険推進部	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課		
第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部門
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 内山 聖
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 吉澤 初記
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院管理棟大会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.92%	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		13,933人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,210人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		3,030人
	D：初診の患者の数		23,133人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊦・無
・ 指針の主な内容： ・ 医療安全管理に係る病院の基本方針 ・ 医療安全管理に係る各委員会等の業務と権限 ・ 医療事故発生時の対応およびインシデント・医療事故の報告方法について ・ 各種医療安全管理マニュアル，他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： ・ 医療事故の防止対策に関すること ・ 医療事故の防止に係る教育および研修に関すること ・ 医療事故の防止マニュアルに関すること，他	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容： ・ 「地方国立大学病院の兼任医療安全管理者の日常」 ・ 「内服薬処方せんの記載方法のあり方に関する検討会報告書について」 ・ 「歯学部総合病院における現状と打開」「麻薬の安全使用について」 ・ 「医薬品の安全管理と処方せん記載方法の変更における留意点」 ・ 「当院における抗血小板薬・抗凝固薬の休薬ガイドラインについて」 ・ 「暴言暴力対策の効果の検討－職員の意識改革変容のアンケート調査を通して－」 「院内の暴言・暴力への対応について<講義・実践>」，他	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (㊦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 院内で発生したインシデント・医療事故のインシデントレポートによる報告と情報収集 ・ 医療事故事例の医療事故防止委員会での報告，改善策の立案と実施，改善状況の検証 ・ 重大事故発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備 ・ 医療事故対策委員会，(調査専門委員会)における事例分析，再発防止の検討，他	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊦ (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊦ (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊦・無
・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (2 6) 名 ・ 活動の主な内容：医療安全管理対策と患者の安全確保を推進するため，医療安全管理部を設置している。主な活動は下記の通り。 ・ 医療事故およびインシデントに係る情報の収集・分析・提供 ・ 医療の安全管理に係る教育と研修，部署リスクマネージャーとの連携 ・ 医療事故発生時の対応に係る指導と状況確認 ・ 医療に係る安全管理のための委員会 (医療事故防止委員会) の運営，他	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊦・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 常に良質な医療の提供にあたって、院内感染防止に努めること。・ 当院における感染症の新たな発症や集団発生を防ぐ体制を確保するために、病院全体の名代として感染対策に取り組み、すべての職員がその必要性を認識し自ら率先して実践していくこと・ 医療の質の向上と医療経済の改善に寄与すること	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 3 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策指針及び院内感染対策のマニュアルに関する事・ 院内感染の予防対策に関する事・ 院内感染発生時の対応及び改善策に関する事・ 院内感染対策に係る情報の収集および医療従事者への周知に関する事・ 院内感染対策に係る教育及び研修に関する事・ 院内感染対策の実施状況の評価に関する事・ その他院内感染対策に関する事	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 「非日常の中の日常～院内感染アウトブレイクにみる感染対策の基本～」・ 「現場における感染対策のピットホール」・ 「HIV感染症と歯科医療～開業医の立場から～」・ 「院内感染最近の話題と当院の状況」, 他	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 耐性菌, 人工呼吸器関連肺炎, 手指消毒薬の払い出し状況, 抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施, 蓄尿及び尿量測定方法に関する基準の策定・ サーベイランス情報を活用した病棟ラウンドの実施 (情報の共有と改善のためのディスカッション)・ 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し迅速な感染防止対策を実施・ 院内感染対策基本マニュアルの改訂	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無																					
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回																					
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>「麻薬の安全使用について」（同一内容で2回実施）（7/9、7/13）</p> <p>「内服処方せんの記載のあり方に関する検討会報告書について」（6/17）</p> <p>「処方せん記載方法の変更における留意点について」（9/17）</p> <p>「当院における抗凝固薬・抗血小板薬使用ガイドラインについて」（1/12）</p>																						
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況																						
<p>・ 手順書の作成 (有 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>H21年12月手順書を全面改訂。</p> <p>H22年4月手順書を一部改訂。 医薬品安全性情報等管理体制加算に関する施設基準に対応するため、手順書の「第8.医薬品情報の収集・管理・提供」に医薬品安全性情報管理の手順を追記し、新たに入手した情報の重要度に応じて関連する医療従事者に対する周知方法等に関する手順を明記。</p>																						
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																						
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1. 採用薬剤適正使用情報 (Vol.8~Vol.30) の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用してメール配信を行っている。配信先 (医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等) は状況に応じて選択可能。</p> <p>2. 薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2ヶ月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。</p> <p>安全の扉：</p> <table><tr><td>Vol.16</td><td>No.5</td><td>「エクア錠 肝機能障害にご注意！」</td></tr><tr><td></td><td>No.6</td><td>「サラゾスルファピリジン投与中は定期的な血液検査を」</td></tr><tr><td>Vol.17</td><td>No.1</td><td>「注射用水は原則、点滴できません」</td></tr><tr><td></td><td>No.2</td><td>「患者さんからの副作用報告システム、試行開始」</td></tr><tr><td></td><td>No.3</td><td>「プレペノン注100mgシリンジは、返却！」</td></tr><tr><td></td><td>No.4</td><td>「再確認！アセトアミノフェン製剤」</td></tr><tr><td></td><td>No.5</td><td>「薬剤部で混注していない薬があります！注意！」</td></tr></table>		Vol.16	No.5	「エクア錠 肝機能障害にご注意！」		No.6	「サラゾスルファピリジン投与中は定期的な血液検査を」	Vol.17	No.1	「注射用水は原則、点滴できません」		No.2	「患者さんからの副作用報告システム、試行開始」		No.3	「プレペノン注100mgシリンジは、返却！」		No.4	「再確認！アセトアミノフェン製剤」		No.5	「薬剤部で混注していない薬があります！注意！」
Vol.16	No.5	「エクア錠 肝機能障害にご注意！」																				
	No.6	「サラゾスルファピリジン投与中は定期的な血液検査を」																				
Vol.17	No.1	「注射用水は原則、点滴できません」																				
	No.2	「患者さんからの副作用報告システム、試行開始」																				
	No.3	「プレペノン注100mgシリンジは、返却！」																				
	No.4	「再確認！アセトアミノフェン製剤」																				
	No.5	「薬剤部で混注していない薬があります！注意！」																				

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 49 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工心肺装置・補助循環装置の使用説明 ・ 人工呼吸器の安全使用説明 ・ 持続的血液ろ過装置の使用とメンテナンスに関して ・ 除細動装置の取扱い ・ 閉鎖式保育器 ・ 自己血回収装置 ・ 心臓カテーテル検査装置 ・ 透析装置の取扱い説明 ・ 一酸化窒素ガス管理システム ・ 神経刺激装置 ・ 電気メス ・ 超音波吸引装置 ・ 血管閉鎖システム ・ 角膜内皮移植装置 ・ ICD 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (☑・無) ・ 保守点検の主な内容：医療機器（人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、放射線照射装置）に関して、保守点検計画書を策定。実施状況・内容等は院内の委員会（医療機器安全管理責任者を含む）にて評価を受ける。 <p style="text-align: center;">* 保守点検計画書には医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検を実施する予定の時期、間隔、条件等を記載。また、機器台帳にて修理履歴を保管。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 	